



## 十日町ライオンズクラブ寄贈図書 新しいAV資料が入りました 新コーナー!「本のチカラ」(第1回) 名作読書講座年間予定 こどもの読書週間



## たくさんあるよ! 本の記念日 4月~5月



1年のうちにはさまざまな記念日や週間があります。本や読書、出版にかかわるものも多く、とくに4月から5月にかけては、たくさん子ども読書に関する記念日が制定されています。それらをご紹介します。

### ★絵本週間(3月27日~4月9日)

4月2日の「国際子どもの本の日」の前後2週間です。よりすぐれた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう「絵本読書」が定着することを願い、社団法人全国学校図書館協議会によって設けられました。

### ★国際子どもの本の日(4月2日)

1966年、世界中が子どもの本を通して国際理解を深めるため、童話作家アンデルセンの誕生日の4月2日を「国際子どもの本の日」と定め、子どもの本に対する関心と呼び起こそうと提案されました。提案者はミュンヘン国際児童図書館の創設者で、第1回国際アンデルセン賞名誉賞受賞者であるイエラ・レップマン(Jella Lepman)です。IBBY(国際児童図書評議会)ではこの提案を受け、翌1967年からこの日を正式に祝うこととしました。

### ★教科書の日(4月10日)

2010年に一般社団法人教科書協会が制定。新しい教科書が児童生徒の手に渡り、教科書に対する関心が高まる「4(よい)月10(とし)日」(良い図書)を記念日とし、教科書を大切に扱うことなどを呼びかけています。

### ★子ども読書の日(4月23日)



子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により2001年に制定されました。この日には文科省による「子どもの読書活動優秀実践校」の表彰が行われるほか、各地で子どもと読書に関する催しが行われます。

### ★サン・ジョルディの日(4月23日)

本と花を贈りあう記念日です。スペイン・カタルーニャ地方で愛の守護聖人としてたたえられる伝説の騎士、サン・ジョルディが殉教した日が4月23日であることに由来します。これが文豪セルバンテスとシェイクスピアの命日(シェイクスピアの誕生日ともいわれています)と結びつき、1923年、カタルーニャ地方の書店が、プレゼント用に本を買った赤いバラを添えるようになりました。日本でも20世紀後半に紹介されて広まっています。

### ★世界図書・著作権の日(4月23日)

読書と文化の発展を促進するため、1995年にユネスコにより制定されました。

### ★こどもの読書週間(4月23日~5月12日)

「こどもたちにもっと本を!」との願いから1959年に社団法人読書推進運動協議会がはじめました。もとは5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日~14日)でしたが、「子ども読書年」であった2000年から今の期間になっています。

小さいときから読書の楽しさを知ることは、成長のためにとっても大切なことです。「こどもの読書週間」の間には、図書館や書店、学校では、本や読書にちなんだ楽しい行事がたくさん行われます。「こどもの読書週間」は、大人が子どもに本を手渡す週間でもあります。

### ★図書館記念日(4月30日)

### ★図書館振興の月(5月1日~31日)

「図書館記念日」は、今日の図書館発展の基盤となった図書館法公布の日(1950年4月30日)を記念して、1971年に日本図書館協会により制定されました。その翌日からの1か月は、図書館員が連帯しながら社会との結びつきを強め、アイデアを出しあい、図書館振興のプログラムを進めようという「振興の月」とされています。

4月23日(火)から5月12日(日)までは、第66回「こどもの読書週間」です。期間中、情報館でも本や読書、図書館により親しんでもらえる催しをご用意しています。詳しくは本紙4面のお知らせをご覧ください。

参考: 国立国会図書館国際子ども図書館HP

### 編集・発行/十日町情報館・NPO法人らいぶフォーラム

〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1 TEL/025-750-5100 FAX/025-750-5103  
「らいぶフォーラム」は、十日町情報館と図書館分室の図書館サービス業務を受託している市民による非営利団体です。2014年2月にNPO法人となりました。



ホームページ



Facebook



## 十日町ライオンズクラブ寄贈図書

十日町ライオンズクラブ創立55周年記念事業として、一般図書50冊、児童図書34冊を寄贈していただきました。



## 4月のテーマ図書

### ■児童向け

はる、みいつけた

『さくらのふね』、『はるがきた』など、春のいぶきを感じられる本を紹介します。

レッツ・トライ！

『いちねんせいえほん』など、新しいことにチャレンジするための本を紹介します。



### ■一般向け

おでかけしましょ

『海の見える無人駅』、『縄文アートを旅しよう！』など、お出かけが待ち遠しくなる本を紹介します。

はじめてみよう

『老いてこそ、スマホ』、『富永愛 美をつくる食事』など、新しい挑戦に向けた本を紹介します。



## 新着AV資料

### ★DVD

【アニメーション・子ども向け】

- 映画おしりたんてい シリアーティ
- 映画ざんねんないきもの事典 ●かがみの孤城

【日本の映画】

- お茶漬の味 ●銀河鉄道の父
- 峠 最後のサムライ

【ドキュメンタリー】

- 掘る女 縄文人の落し物 ●夢は牛のお医者さん

### ★オーディオブック(朗読CD)

【朗読喫茶 嘶の籠～あらすじで聴く文学全集～】

- ①9 星の王子様、賢者の贈り物・最後の一葉、クリスマスキャロル
- ②0 ロミオとジュリエット、若草物語、美女と野獣
- ②1 レ・ミゼラブル、オペラ座の怪人、初恋
- ②2 ふしぎの国のアリス、小公女、十五少年漂流記
- ②3 赤毛のアン、マッチ売りの少女、人魚姫、星の銀貨、赤ずきん、ブレーメンの音楽隊
- ②4 シャーロックホームズ～赤毛組合、怪盗紳士ルパン～ルパンの脱獄、黒猫

☆人気声優の朗読で聞く朗読CDシリーズ第4弾。オリジナルあらすじ台本に、ベテランから新進気鋭の若手まで、バラエティに富んだ声優陣が花を添えます。不朽の名作を朗読で耳からもお楽しみください。

## 新着地域資料

『雪国文化が息づく山里  
松代・松之山郷』(ダイジェスト・資料編)  
村山達三／編著 NPO法人まつだい 2024.1

にいがた観光カリスマで東部タクシー社長の村山達三さん(79)が、長年にわたり収集した資料や自費出版してきた冊子をまとめた労作。文化庁「日本遺産究極の雪国とおかまち」の十日町市事業の補助金を受けて製作されました。

写真を豊富に収録したオールカラーの「ダイジェスト」と、地域の屋号や名字、年中行事や方言などの詳細な郷土文化を載せる「資料編」で構成。

村山さんは、「先人が50年かけ苦労し開通した『ほくほく線』。それがこの地の「観光」を教えてくれた。地域の歴史文化を残すのは我々の仕事。終活だと思って作った」と語っています。



山内写真館資料写真集(十日町市地域映像アーカイブⅣ)

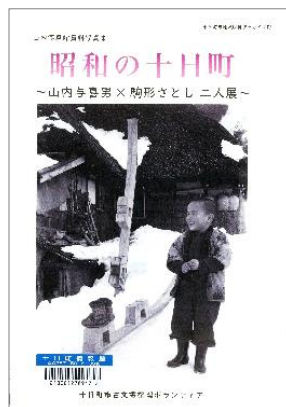
## 『昭和の十日町』

～山内与喜男×駒形さとし 二人展～

十日町市古文書整理ボランティア 2024.3

3月に情報館ギャラリーで開催された第15回山内写真館資料写真展の展示をまとめた写真集。同シリーズでは4冊目となります。

中心市街地を記録し続けた山内与喜男。山里や子どもたちの暮らしを撮影した駒形さとし。2人の写真を通じ、昭和30～50年代のふるさとの暮らしと人々の姿をご覧ください。



## 雑誌スポンサーになりませんか？

雑誌スポンサーとは、企業や団体から情報館で所蔵する雑誌の年間費用を負担していただく制度です。スポンサーとなった雑誌の新刊カバー、書架などには、企業や団体名、広告を掲載することができます。雑誌のジャンルにより対象を選ぶこともできます。情報館で活動をPRしてみませんか？

新しくスポンサーになっていただける企業・団体を募集中です。詳しくは十日町情報館(025-750-5100)までお問い合わせください。





# 本のチカラ<sup>(1)</sup>

## ☆はじめまして。

令和6年4月から子ども読書活動推進コーディネーターを務めさせていただきます林です。どうぞよろしくお願いいたします。

世の中が凄まじいスピードで変化したり、想定していなかったことが起きたり、10年前には想像していなかった現代(今)を私たちは生きています。この変化はやがて落ち着くのでしょうか、それとも変化し続けるのでしょうか。

そんな混沌とした世の中で、渦にのみこまれ、流されているかのように、人びとは毎日とても忙しそうに見えます。そんな時に本が、子どもたちにとって荒波の中での灯台や碇の役割をしてくれるかもしれません。時には自分のペースで思いを巡らせ、

## 子ども読書活動推進コーディネーター 林 篤子



自ら考える時間を持つことの大切さを感じます。

脳が未熟な子どもたちの置かれる環境は、ゆったりと落ち着いた、安全な場所であってほしいと願います。20年間読み聞かせ活動をしていた経験から思う、子どもの成長や絵本に関わる様々なことを発信させていただきたいと思っています。

今後とも、子ども読書推進活動にご理解をいただけたら幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。



## 4月21日(日)は家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。

## 『くんちゃんのはじめてのがっこう』

ドロシー・マリノ/さく まさき りこ/訳 ペンギン社(絵本Eマ)

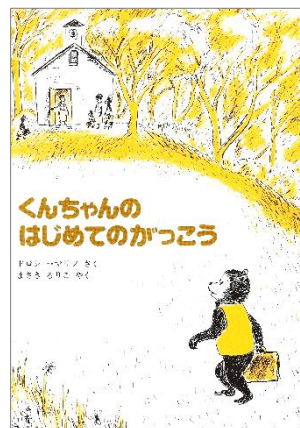
待ちに待った初めて学校へ行く日。

こぐまのくんちゃんは、ごきげんでお母さんと一緒に学校へ向かいました。けれど、学校に着いてひとりになったくんちゃんは、急に不安になり、開いていた戸から逃げ出していました。そんなくんちゃんを、先生は優しく迎え入れるのでした。

新しい環境に入っていく時、誰もが不安とワクワクの入り混じった気持ちになります。幼い子どもにとって、その負担は大人が思う以上のものかもしれません。周りの大人は、どうしたらそんな子どもの心を理解し、寄り添うことができるでしょうか。

この絵本を読み終わると、聞いていた子どもたちはみな笑顔になります。入園、入学のお子さんにぜひ読み聞かせたい絵本の1冊です。

## ☆絵本を紹介します



## 新着資料紹介 2月21日～3月20日分

### 【一般図書】

●『世界一かんたんな図書館の使い方』つのだ由美こ／著 秀和システム(総記 015ツ) ●『漫画家が見た百年前の西洋』和田博文／著 筑摩書房(歴史 290ワ) ●『スパイスハンターの世界カレー紀行』水野仁輔／著 産業編集センター(川西 383ミ) ●『につぼん桜めぐり』深澤武／写真・文 青菁社(中条 479フ) ●『助産師さき先生のはじめての母乳育児』水内早紀／著 すばる舎(中里 599ミ) ●『日本のミュージアムを旅する』後藤さおり／著 天夢人(川治 706ゴ) ●『『大漢和辞典』の百年』池澤正晃／著 大修館書店(言語 813イ) ●『江戸咎人逃亡伝』伊東潤／著 徳間書店(下条 913.6イ) ●『気散じ北斎』車浮代／著 実業之日本社(吉田 913.6ク) ●『板上に咲く』原田マハ／著 幻冬舎(日文 913.6ハ) ●『宇宙に花火を。』松井尚斗／著 KADOKAWA(松代 913.6マ) ●『人生に期待するな』北野武／著 扶桑社(飛渡 914.6キ) ●『クリスティを読む!』大矢博子／著 東京創元社(海ミス 930ク)

### 【児童図書】

●『飛行機の学校』今野友和／監修 ニュートンプレス(児童一般 538ヒ) ●『ふしぎなフーセンガム』麻生かづこ／作 文研出版(中里児童 913ア) ●『嘘吹きアンドロイド』久米絵美里／著 PHP研究所(児童日文 913ク) ●『行く手、はるかなれど』菱木晃子／作 徳間書店(児童日文 913ヒ) ●『ミス・マーブルの名推理 火曜クラブ』アガサ・クリスティー／著 早川書房(児童外文 933ク) ●『キッチンカーです』オームヲモコ／作・絵 教育画劇(絵本 Eオ) ●『ポッポーきかんしゃはなさんぽ』とよたかずひこ／作 アリス館(赤絵 Eト) ●『みつごちゃんとびっくりセーター』西巻かな／絵 童心社(松之山児童 Eニ) ●『カチコチれいぞうこだいさくせん』ユン ジョンジュ／ぶん・え パイインターナショナル(水沢児童 Eユ)

### 【地域資料】

●『昭和の十日町～山内与喜男×駒形さとし 二人展～』十日町市古文書整理ボランティア(地域 T014シ) ●『雪国文化が息づく山里 松代・松之山郷』村山達三／編著 特定非営利活動法人まつだい(地域ほか T214.1ユ)

# 2024 第66回 こどもの読書週間

4月23日(火)～5月12日(日)

標語「ひらいてわくわく めくってドキドキ」

本や読書により楽しめるイベントをご用意しています。ゴールデンウィークは情報館で！

## 春のおはなしびよびよスペシャル

### ■おはなし＆ぬいぐるみおとまり会

おきにいのぬいぐるみといっしょに、たのしいおはなしをききましょう。そのあと、ぬいぐるみはおとまりをします。



日時／4月28日(日)

午後2時～3時30分(受付は午後1時30分から)

場所／十日町情報館 第3集会室

対象／幼児～小学生 定員／15人(要事前申込み)

申込方法／チラシの申込用紙に記入して職員にお渡しください。お電話、FAXでもOKです。

持ち物／大きさ30cm以内のぬいぐるみ、フィギュアなどをひとり1体

### ■みんなでつくろう 春のにわ

みんなにおすすめしたい本、好きな本をかいて、壁いっぱいに春のにわをつくろう！



日時／4月23日(火)～5月12日(日)

午後2時～3時30分

(受付は午後1時30分から)

場所／情報館スロープ、川西分室、松代分室

### ■映画『ざんねんないきもの事典』上映会

日時／4月29日(月・祝)

①午前10時～11時10分 ②午後2時～3時10分

※①・②とも同じ内容

会場／情報館 視聴覚ホール

対象／幼児～小学生とその保護者

定員／各回先着90人(要事前申込み)



### ■知ってほしいな 便利なサービス

情報館の便利な使い方をていねいに説明します。

日時／5月4日(土)・8日(水)・12日(日)

①午前11時～ ②午後2時～ ※1回45分程度

会場／情報館 喫茶コーナー

内容／インターネットサービス、セルフ貸出返却機の利用方法など

対象／一般 定員／なし(申込み不要)

### ■情報館の活動をふりかえる展

日時／4月23日(火)～5月26日(日)

※5月13日(月)は休館日

会場／十日町情報館 インターネットコーナーとなり

## その他の催し

### ●フォト写楽 写真展

日時／4月6日(土)～16日(火)

午前9時～午後7時 ※16日は午後4時まで

会場／2階ギャラリー



## 4月のおはなし会

( )内は対象



### ◆情報館

6日(土)・13日(土)

／おはなしびよびよ(乳幼児)

20日(土)／読み聞かせの会 どんぐり

(幼児～小学校低学年)

27日(土)／おはなし「たまてばこ」(乳幼児)

### ◆川西分室

20日(土)／おはなしの会「ふきのとう」

(乳幼児～小学校3年生くらい)



### ◆松代分室

13日(土)／おはなしたんぽぽ(幼児～小学校低学年)

## 第87回名作読書講座

### 『うちの父が運転をやめません』

垣谷美雨／著 (KADOKAWA)

猪狩雅志は高齢ドライバー事故のニュースを目にした。78歳といえば親父と同じ歳だ。妻の歩美と話しているうちに心配になってきた。夏に息子の息吹と帰省した際、父親に運転をやめるよう説得を試みるが、あえなく不首尾に。通販の利用や都会暮らしのトライアル、様々な提案をするがいずれも失敗。そのうち、雅志自身も自分の将来が気になり出して……。

父は運転をやめるのか。雅志の出した答えとは？心温まる家族小説！

日程／4月18日(木)

午後7時30分～8時45分

会場／第1集会室

対象／中学生以上

定員／25人(申込み不要)

講師／庭野三省さん



## 【名作読書講座 今後の予定】

5月23日(木) 石坂洋次郎『若い人』

6月20日(木) 田山花袋『田舎教師』

7月18日(木) 円地文子『女坂』

8月22日(木) 藤沢周平『蟬しぐれ』

9月19日(木) 深沢七郎『楢山節考』

10月17日(木) チューホフ『桜の園』

11月21日(木) 林芙美子『放浪記』

12月19日(木) 司馬遼太郎『坂の上の雲』

※日程、内容は変更する場合があります。

## 十日町情報館 開館時間・休館日

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 第2・第4月曜日(当分の間)

特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)

〒948-0072 西本町二丁目1-1

電話／025-750-5100 FAX／025-750-5103